



**IRSP-S**  
**IRSP-K**  
**IRSP-E**

# 集合管耐火遮音キット

- ・国土交通大臣認定：PS060FL-0480（床・鋳鉄製集合管モルタル埋戻し）  
PS060FL-0629（床・鋳鉄製集合管[ヒートメルサイレンス]巻きモルタル埋戻し）
- ・平成17年消防庁告示第4号適合

製品仕様および使用配管の適用範囲詳細に関しましては、弊社防災製品カタログ、国土交通大臣認定書にてご確認ください。

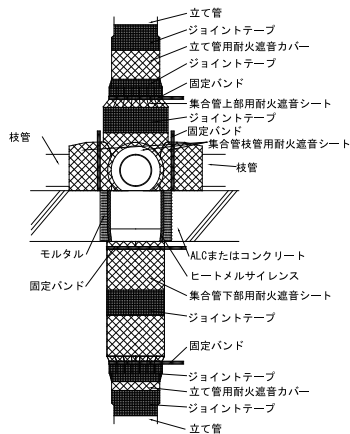
本製品は、積水化学工業株式会社製集合管 ADスリム継手（一般タイプ）80A、100A  
株式会社小島製作所製集合管 CP60（1方向、2方向[L, I]、3方向）80A、100A  
株式会社クボタ製集合管 3SL、4SL（A、B、C、Dタイプの標準品）に対応しております。  
※その他の集合管対応については、弊社営業所へご相談ください。

- 注意**
1. 作業時には、軍手・手袋・マスクなどを着用してください。
  2. 本製品には耐候性はございません。保管・施工の際には直射日光や風雨がかからないように措置を施してください。
  3. 国土交通大臣認定書をご熟読の上、施工してください。
  4. 配管サイズ選定の際には、貫通孔径および占積率を共に満たすことをご確認ください

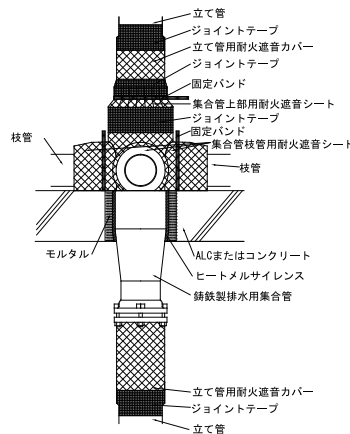
## ■ 国土交通大臣認定取得工法における施工可能な耐火遮音キット取付パターン

下図①～③のパターンにて施工可能です。

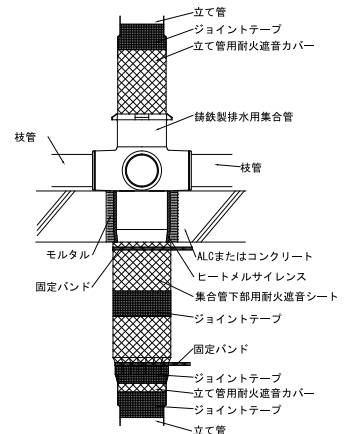
①集合管上下部耐火遮音処理する場合



②集合管上部のみ耐火遮音処理する場合



③集合管下部のみ耐火遮音処理する場合



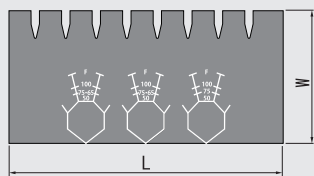
〈注意〉 ヒートメルサイレンス巻の図になっておりますが、直接埋戻し工法にも対応しております。

## ■ 集合管耐火遮音キット・施工工具などの準備

### 【集合管耐火遮音キット】

#### 上部用キット

両面テープ付き上部用耐火遮音シート… 1枚

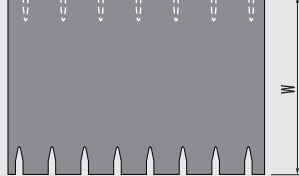


ジョイントテープ…3枚 固定バンド…1本

Sサイズ:   
Mサイズ:   
Lサイズ:

#### 下部用キット

両面テープ付き下部用耐火遮音シート… 1枚



ジョイントテープ…3枚 固定バンド…2本

Sサイズ:   
Mサイズ:   
Lサイズ:

#### 枝管用キット

枝管用耐火遮音シート… 1枚



固定バンド… (本数は下表参照)

型番	IRSP-S- 80	IRSP-S-100
L (mm)	570	620
W (mm)	285	300

型番	IRSP-K- 80	IRSP-K-100
L (mm)	540	580
W (mm)	360	400

型番	IRSP-E- 80	IRSP-E-100	IRSP-E- F
L (mm)	380	400	400
W (mm)	120	120	200
固定バンド	1本	1本	2本
枝管サイズ	50・65用	75用	フランジタイプ用 (積水化学工業製集合管)

〈注意〉 排水用集合管・集合管支持金具は、別途ご用意ください。

### 【施工工具】

カッターナイフまたはハサミ（抜き取り用）、ウエスなどをご用意ください。

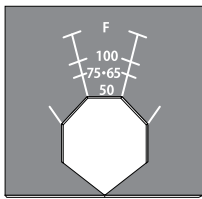
# 《施工手順》

## ■ 上部用キットの施工

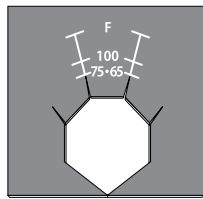
集合管サイズに合わせて上部用キットを選定してください。

### 枝管部の設定

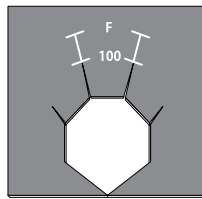
カッターナイフ等を用いて横枝管の位置に合わせ抜き取り、サイズに合わせ切り込みを入れてください。



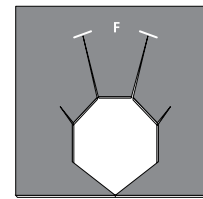
サイズ50の切り取り



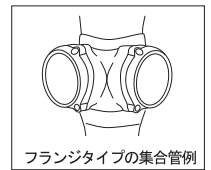
サイズ65・75の切り込み



サイズ100の切り込み



フランジタイプの切り込み



フランジタイプの集合管例

### 集合管上部への取付け

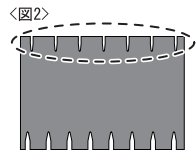
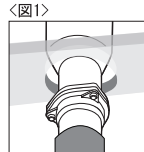
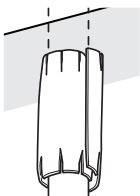
- ① グラスウールに付着している両面テープの離型紙を剥がし、上部用耐火遮音シートの抜き取り部を横枝管に合うように上から差し込み、巻き付けて仮合わせしてください。
- ② シートの合わせ目に、同梱のジョイントテープ（Sサイズ）を伸ばしながら貼り付け、強く押し付けてなじませてください。
- ③ 上部の切り込みを合わせながら梱包のジョイントテープ（Mサイズ）を一周以上巻き付けてください。ジョイントテープの上から重なり部を固定バンドでしっかりと固定してください。
- ④ 同梱されている残りのジョイントテープ（Lサイズ）を横枝部にかからないように中心にテンションをかけながら巻き付けてください。

## ■ 下部用キットの施工

集合管サイズに合わせて下部用キットを選定してください。

### 集合管下部への取付け

- ① グラスウールに付着している両面テープの離型紙を剥がし、床下側（製品の半抜き切れ目がある側）から下部用耐火遮音シートをなじむようにしっかりと押さえながら隙間がないことを確認して巻き付けます。  
〈注意〉 集合管の床下部が〈図1〉のように細くなっている場合は、下部用耐火遮音シートの切り取り線に沿って切り取り〈図2〉、切り欠き部を合わせるように寄せて仮合わせしてください。



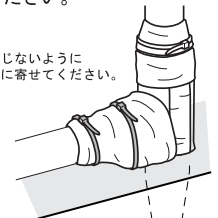
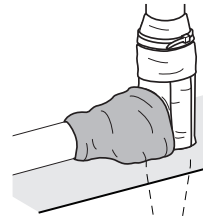
- ② シートの合わせ目に、同梱のジョイントテープ（Sサイズ）を伸ばしながら貼り付け、強く押し付けてなじませてください。
- ③ ①で貼り合わせた両面テープ部分を、同梱の固定バンドでしっかりと固定してください。
- ④ 立て配管側の切り欠き部を合わせながら、同梱のジョイントテープ（Mサイズ）を一周以上巻き付けてください。ジョイントテープの上から重なり部を固定バンドでしっかりと固定してください。
- ⑤ 同梱されている残りのジョイントテープ（Lサイズ）にテンションをかけながら巻き付けてください。

## ■ 枝管用キットの施工

枝管サイズ・形状に合わせて枝管用キットを選定してください。

### 枝管部への取付け

- ① 枝管用耐火遮音シートの印字側を上にし枝管の上から巻き付け、合わせ目が枝管下部にくるようにしてください。
- ② ズレが生じないように集合管枝部にかかるよう固定バンドで固定してください。フランジタイプの場合は、さらに枝管にもかかるようにもう一端も固定バンドで固定してください。  
〈注意〉 隙間が生じないように集合管側に寄せてください。



## ■ 施工終了確認

集合管耐火遮音シートの合わせ目に、ジョイントテープ・固定バンドの止め忘れはないか、確認して作業を終了してください。

- 〈注意〉・ジョイントテープは一周以上巻き、必ずオーバーラップさせてください。接続部に隙間があると音漏れの原因となりますのでご注意ください。
- ・付属のジョイントテープは幅や長さをカットしないでください。
  - ・ジョイントテープを巻き付ける際は、耐火遮音シート表面やテープ自体の汚れやほこりをウエスなどでよく取り除いてから巻き付けてください。テープがはがれる原因となります。

- ・一度使用したテープは、再利用できませんのでご注意ください。別売りのジョイントテープをご使用ください。
- ・耐火遮音シートは必ずオーバーラップさせて隙間がないように施工し、耐火遮音シートの切断面が見えないようにジョイントテープで確実に貼り合わせてください。隙間があると十分な遮音・耐火性能を得られません。
- ・ジョイントテープの貼り忘れや固定バンドの止め忘れは、遮音・耐火性能を得られません。